

日時：平成29年11月18日（土） 10:00～16:30 場所：奈良佐保短期大学

### 実施概要

- 福祉・こどもフェスタ来場者を対象とした**認証制度のプロモーション**の実施。認証制度説明ブースを設置し、パンフレット等による周知を実施。学生や親子連れ等にも興味をもってもらえるように、せんとくんを活用するなどの工夫を行った。
- NPO法人代表の高瀬比左子さんが主催する「未来をつくるkaigoカフェ」内にて「奈良県福祉・介護事業所認証制度」の紹介およびパンフレット等を配布。その後のグループトークでは**認証事業所職員と学生等が、それぞれの立場や役職を越えてテーブルを囲み**「どんな職場なら働きやすいか」等について話し合い、職場等ではなかなか口にはできない思いや気づきを自由に語り合うきっかけとなった。

### 認証制度説明ブース



日時：平成29年11月30日（木） 15:00～16:30 場所：桃山学院大学

参加者：社会福祉学科学生 26名、ゼミの教授・准教授 3名  
認証事業所職員 8名

### 実施概要

- 社会学部のゼミの時間に、**認証事業所職員を交えて「理想の職場とは」というテーマで意見交換を実施。**
- 学生からは、給料や休暇といった労働環境や、資格取得をサポートしてもらえるなど制度面の充実に加え、**良好な人間関係や自分自身の成長につながる職場を求めている**ことがうかがえた。
- 「**実際に事業所の話を聞いた**」、「**多くの人と様々な意見交換をできた**」など有意義であったと回答する学生が多く、実際に福祉・介護の現場で働く事業所職員と直接話せる貴重な機会となった。

### グループ討議の様子



### 参加学生アンケート結果（回答数26）

本日の大学キャラバンは就職を考える上で有意義な機会となりましたか？

- 非常に有意義だった・・・54%
- ある程度有意義だった・・・42%
- あまり有意義ではなかった・・・4%

県が知事認証を与えている福祉・介護事業所と、そうでない事業所では就職候補先として検討時に差がつかますか？

- 就職候補先として最優先したい・・・23%
- 重要な差別化要因になる・・・23%
- どちらかという認証があるほうがよい・・・27%

日時：平成30年2月23日（金） 13:00～16:00 場所：花園大学 自適館

### 実施概要

- 学内就職イベント「花園博覧会 2018」にて、奈良県の認証制度・認証事業所の紹介**
- 認証制度のPR活動
  - ブースでの認証制度の説明、認証事業所の紹介
  - ブース付近で学部別簡易アンケートの実施
  - ノベルティの配布（不織布バッグ、クリアファイル、コーヒーなど）

訴求対象：イベント参加者（花園大学 3年生全学部 及び 他校生） 50～60名

結果：ブース来訪者 15名、アンケート回答者数 38名

- 多くの学生は京都府内の事業所を中心に検討しているが、奈良に興味がある学生もおり、**県域を越えた積極的なプロモーション**により奈良県内での就職につながる可能性があることがわかった。

### 奈良県ブース



### 簡易アンケート結果

就職候補先を検討する際に、県が知事認証を与えている福祉・介護事業所であることを重視しますか？（社会福祉学部対象、回答数21）

- 認証事業所を最優先したい・・・38%
- どちらかという認証事業所のほうがよい・・・42%

福祉・介護の仕事にどのようなイメージをお持ちですか？（文学部対象、回答数17）

- 体力的、精神的に大変そう・・・14名
- 超高齢社会において今後伸びていく・・・6名
- 給与や休暇など雇用面の待遇が心配・・・3名
- 人や社会の役に立ち、働きがいがある・・・3名